



つるだ

令和2年度 さつま町立鶴田小学校 学校便り 第2号 R2.5.29発行

す くすく体
わ くわく心
や る気で
ま なぶ
鶴田っ子

音読で鍛える読解力

校長 中津朋広

学校が再開し、3週間が過ぎました。子供たちが毎日元気に登校できることの喜びを実感しています。この当たり前の日常がいつまでも続くことを祈りながら、子供たちの健康・安全に配慮して教育活動を推進していきます。

さて、右の問題は、令和元年度鹿児島学習定着度調査で出題された、文章を正確に読み取る力の定着度を調査する問題です。多くの教科・問題で県平均を上回りましたが、この問題は、県平均を下回ったものの一つです。

激しい変化が予測される社会を生き抜くために、子供たちの思考力・判断力・表現力を高めることが求められています。いくつかの事実から自分なりの考えを整理したり、考えを分かりやすく伝えたりする力は、今後更に重要になってくることは間違いありません。但し、考えたり、表現したりするためには、まず、その基となる情報を自分の中に正しくインプットすること、つまり、読んだり聞いたりしたことを正しく理解する力が必要です。

文章を読んで理解する力、読解力について、新井紀子氏は、著書「AIに負けない子供を育てる」で次のようなことを述べています。新井氏は、「ロボットは東大に入れるか」というプロジェクトを立ち上げ、研究を続けた結果、「現在のAIでは、とても人間に追いつくことはできない。」と結論付けました。その理由として、AIは、文脈を考えながら文章の意味を理解することが苦手だということを上げています。人間がAIに仕事を奪われない鍵の一つとなりそうな話しです。但し新井氏は、人間も、正確に読む、ということに関してはかなり怪しいので、読解力の向上に力を入れることが非常に重要だとも述べています。

最初に示した調査結果を受け、鶴田小学校では、本年度から読解力を高める取組を進めていくことにしました。その手始めとして、「教科書の音読の徹底」を学校経営プランに盛り込みました。

音読には、様々なよい効果があることが分かっています。「声に出して読むことで、内容が耳から自分にフィードバックされ、記憶に残りやすい。」「黙読では気付かない読み間違いや、読めない文字などをはっきりと自覚することができる。」「点や丸に気を付けて読むことで、文章の理解が深まる。」「脳を活性化させたり、心を落ち着かせたりする効果がある。」などです。また、学校でも、家庭でも、やる気さえあれば、短い時間で毎日取り組めることも音読のよさです。音読する本は、国語の教科書に限りません、社会、算数、理科など、色々な教科書を、繰り返し音読させます。

「読書百遍意自ずから通ず」(※難しい書物も、繰り返して熟読することで、自然と意味が分かってくる。)という諺もあります。学校でも、家庭でも、子供の音読が響き渡ることを目指して、取組を充実させていきたいと考えています。

R元鹿児島学習定着度調査国語科の問題より

正答率 本校41.1% 県69.6%

次の文章を読み、あとの()に当てはまるものとして、最も適切なものを次のアからウの中から一つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

「温度によって変わる水のすがた」
湯気は、水の小さいつぶで、水じょう気ではない。水を熱したときに出てくるあわは、水が見えないすがたに変わったもので、水じょう気である。水じょう気は、気体である。

()は気体である。

- ア 湯気
- イ 水の小さいつぶ
- ウ 水を熱したときに出てくるあわ



体力・運動能力調査 ～体力向上の成果を確認～

5/21



長座体前屈(柔軟性の調査)

本校は、北薩教育事務所研究協力校として、体力向上に取り組んでいます。子供たちの体力の状況を調査する体力・運動能力調査を実施しました。子供たちは、それぞれの調査に協力して真剣に取り組んでいました。結果をもとに、個人の目標や、学級での目標を設定して、本年度も「たくましい子」の育成をめざして取組を一層充実させていきます。

プール清掃

5/24

愛校作業は、コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止になりましたが、施設事業部と体育部の保護者の皆様に、



プール清掃を行っていただきました。防火水槽として年間を通して水を溜めた状態になっていますので、底溜まった泥や落ち葉を除去には、大勢の大人の力が必要です。お陰様で、水泳学習が気持ちよくスタートできます。ありがとうございました。

フッ化洗口の指導

5/19

子ども支援課の方々に、1年生のフッ化洗口の指導をしていただきました。

最初に、歯磨きやフッ化洗口をすることの大切さについてお話を聞いた後、水を使って洗口の仕方を習いました。口の中全体を洗うことができるように、顔を右・左・下向きに傾ける3つのステップでうがいをしました。



フッ化先口や歯磨きの励行で、鶴田小のむし歯保有率は減少しています。むし歯の治療率も100%で、「むし歯0」の鶴田小学校を目指しましょう。

感染症の拡大防止対策の継続

緊急事態宣言が解除され、様々な自粛が緩和されるようになってきました。しかし、学校はたくさんの子供たちが集まって学習をするところです。今後も、当面の間は、感染症対策をしっかりとりながら教育活動を進めていきます。基本的な考え方は、これままと変わりありません。

- ① 原則マスク着用(体育の時間などは外します。)
- ② 手洗いの徹底
- ③ 3密の回避(例えば、全校での集会は当面の間見送ります。)
- ④ 大人数が頻繁に手を触れる場所の消毒

子供たちが、毎日明るく学校に登校できる環境を整えるためには、まず学校での感染リスクをできるだけ減らすことが大切だと考えます。マスクの準備など御家庭にも御負担をおかけしますが、御協力をお願い致します。

6月・7月の主な行事

6月

- 2 (火) 歯科保健指導 (5年)
- 3 (水) 耳鼻科検診 (1～6年)
- 10 (水) 授業参観, 学校保健委員会
学級PTA, PTA常任委員会
- 15 (月) にこにこ家族会議 (~20日)
避難訓練
- 22 (月) 歯科保健指導 (1～4, 6年)
- 23 (火) 非行防止教室 (6年)
- 26 (金) 着衣水泳 プール清掃

7月

- 1 (水) 水泳学習発表会, 家庭教育学級
学級PTA, PTA常任委員会にこ
- 6 (月) にこ家族会議 (~20日)
- 20 (月) 終業式, 集団下校
- 21 (火) 算数教室 (22日, 27日)
- 28 (火) 小学校水泳記録会

鶴田小学校ブログQRコード

<http://tsuruda.blog.fc2.com/>

